

令和7年度推薦入学者選抜募集要項

鹿児島県立加治木工業高等学校
所在地 鹿児島県姶良市加治木町新富町131番地
〒899-5211 TEL(0995)62-3166

1 推薦入学を実施する理由

当該学科に対する適性及び興味・関心をもち、本校で学ぶための確固とした目的意識を持つ者の入学を促進することによって学校を活性化し、特色ある学校づくりを推進するために行う。
推薦入学者選抜は、学校推薦方式と自己推薦方式の両方を実施する。

2 推薦入学者の募集定員

機械・電気・電子・工業化学・建築・土木の各学科ごとに、募集定員の30%以内とする。なお、推薦募集定員は、学校推薦方式と自己推薦方式を合わせた定員である。

推薦募集定員（単位：人）

学 科	推薦募集定員	学 科	推薦募集定員	学 科	推薦募集定員
機 械 科	24	電 気 科	12	電 子 科	12
工業化学科	12	建 築 科	12	土 木 科	12

3 出願資格

推薦入学者選抜を志願できる者は、学校推薦方式か自己推薦方式のいずれか一方に出願することができる。ただし、楠隼高等学校入学者選抜に出願した者は、推薦入学者選抜に出願することはできないものとする。

(1) 学校推薦方式

学校推薦方式により推薦入学者選抜を志願できる者は、次に掲げるいずれにも該当する者で、在学している中学校等の校長（以下「中学校長」という。）が推薦する者とする。

- ア 令和7年3月に本県の中学校等を卒業する見込みの者
- イ 当該学科を志願する動機や理由が適切であると認められる者
- ウ 当該学科に入学する意思が確実であると認められる者
- エ 当該学科に対する適性及び興味・関心を有する者
- オ 当該学科の教育を受けるにふさわしい学業成績である者
- カ 生徒会活動、スポーツ活動、文化活動、奉仕活動等の中のいずれかにおいて優れた資質や実績を有する者又は特定の教科において優れた能力を有する者

(2) 自己推薦方式

自己推薦方式により志願できる者は、令和7年3月に中学校等を卒業する見込みの者又は卒業した者で、3(1)イからカに加え、次に掲げるいずれにも該当する者とする。

- ア 本校のアドミッション・ポリシーに合致する者
- イ 中学校第3学年次の9教科の5段階評価の評定合計が24以上であり、各教科の5段階評価の評定が2以上であること

本校のアドミッション・ポリシー（入学受け入れに関する方針）

- 1 ものづくり教育を中心とした本校の教育方針を理解し、工業の知識や技術を身に付けて、将来社会に貢献したい生徒を募集します。
- 2 学習と部活動の両立を目指す生徒、ボランティア活動や生徒会活動等に積極的に取り組む生徒を募集します。
- 3 規範意識を持ち、基本的生活習慣をしっかりと身に付けた生徒を募集します。
- 4 基礎学力を備え、学習に対する意欲と向上心のある生徒を募集します。
- 5 明確な目標を持ち、進路実現に向けて努力する生徒を募集します。

4 出願期間

令和7年1月21日（火）から1月27日（月）正午（必着）までとする。

5 出願手続及び留意事項

- (1) 出願は、1人1校1学科に限る。ただし、学科併願による募集を行うので、3つの学科に出願することができる。入学願書の志望学科欄への記入については、以下のとおりとする。

- ア 第1志望のみ記入する場合は、第1志望欄に学科名を記入し第2・第3志望欄に斜線を引く。
- イ 第2志望まで記入する場合は、第1・第2志望欄に学科名を記入し第3志望欄に斜線を引く。
- ウ 第3志望まで記入する場合は、第1志望から第3志望欄のすべてに学科名を記入する。

- (2) 推薦入学志願者は、中学校長を経て、本校校長に推薦入学願書（本校が様式1に基づき作成したもので、左上に「学校推薦」または「自己推薦」と朱書きされたもの）を提出する。

- (3) 推薦入学志願者は、本校の定める推薦入学願書及び受検票に必要事項を記入し、推薦入学願書には入学検定料として2,200円の鹿児島県の収入証紙を、また、受検票には顔写真（縦4cm、横3cm、裏面に氏名及び中学校名を明記）を貼付し、出身中学校長に提出する。なお、東日本大震災又は熊本地震、能登半島地震の被災地域の者は、入学検定料を免除する。

- (4) 特別な理由等により年間の欠席日数が30日以上のおすすめ入学志願者は、自己申告書（様式20）を出身中学校長を経て、本校校長に提出することができる。
- (5) 推薦入学書類等の提出
 - ア 出身中学校長は、出願期間内に次の書類を本校校長に提出する。
 - (イ) 推薦入学願書（5(2)で提出を受けたもの）
 - (ロ) 推薦入学選抜出願者総括表（様式2-2）
 - (ハ) 推薦書（様式10-1）（学校推薦方式のみ）
 - (ニ) 志望理由書（様式10-2）（自己推薦方式のみ）
 - (ホ) 調査書（様式4-1又は様式4-2）
 - イ 出身中学校長は、身体的障害等のため受検上何らかの措置を必要とする入学志願者がいる場合は、アの書類の提出に併せて、その旨を本校校長に申し出る。
- (6) 出願者に対しては、出身中学校長を経て推薦入学選抜受検票を交付する。
- (7) 提出書類に不正な記入が判明した場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがある。

6 選抜

選抜は、学校推薦方式における中学校長の推薦書又は自己推薦方式における志望理由書、調査書等の記録及び本校で実施する面接、作文、実技等の結果を総合して行う。

なお、調査書を活用するに当たっては、中学校等の臨時休業や分散登校、出席停止等の影響で、特定の入学志願者が学習評価の内容等の記載により、また、指導上参考となる諸事項等の記載が少ないことをもって、不利益を被ることはない。また、中学校等の部活動等におけるスポーツ・文化関係の行事、大会の実績や、資格・検定試験等の成績を入学選抜において評価する際には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため中止、延期又は規模縮小等となったこれらの行事等に入学志願者が参加できなかったことのみをもって不利益を被ることもない。また、中学校3年間の活動状況（参加することのできた行事等の実績・成績を含む。）や意欲、努力の過程等を、面接や調査書・推薦書・志望理由書等によって総合的に評価する。

(1) 面接・作文・実技

一次（学科別）面接・作文は、推薦入学志願者全員に行う。実技はスポーツ活動による志願者のみとし、他の志願者は二次（推薦項目別）面接を行う。ただし、実技は天候により二次面接に変更になる場合もある。また、実施期日に実技が行えない（怪我等）状況の場合、推薦入試実技変更申請書（本校様式）を提出することで面接に変更することができる。

(2) 実施期日等

- | | |
|-------|--------------------------------|
| ア 期 日 | 令和7年2月4日（火） |
| イ 場 所 | 本校 会議室等 |
| ウ 時 間 | 午前9時から午後1時（予定） |
| エ 携行品 | 受検票、筆記用具、実技に必要な服装・道具（後日中学校へ連絡） |

7 選抜結果の通知及び合格者の発表等

- (1) 推薦入学者の選抜結果については、令和7年2月10日（月）に出身中学校長に対し電話で連絡するとともに、推薦入学選抜結果通知書（様式11）及び推薦入学許可予定通知書（様式12）を送付する。
- (2) 推薦入学許可予定者については、本校における入学選抜学力検査は行わない。
- (3) 推薦入学許可予定者は、令和7年2月13日（木）正午までに入学確約書（様式14）を本校校長あてに提出することとし、原則として、高等学校入学選抜学力検査を受検することはできない。
- (4) 合格発表は、令和7年3月13日（木）午前11時以後、本校ならびにHPにおいて受検番号で発表する。
- (5) 合格者は入学に関する説明を行うので、3月14日（金）正午に保護者同伴のうえ、本校体育館に集合すること。
- (6) 推薦入学選抜の結果、不合格となった者については、次の掲げる高等学校へ、それぞれに定める手続により出願することができる。
 - ア 推薦入学選抜を受検した高等学校の同一学科へ志願する場合は、推薦入学選抜受検票を出願期間内に当該高等学校長に提出し、改めて受検票の交付を受ける。入学願書、調査書の提出及び入学検定料の納入は必要としない。
 - イ 推薦入学選抜を受検した高等学校の他学科へ志願する場合または学科併願の追加・削除もしくは希望順の変更を行う場合は、アの手続きをとった上で、出願変更期間内に所定の手続き（出願変更）を行う。この場合、入学検定料の納入は必要としない。
 - ウ 推薦入学選抜を受検した高等学校と異なる高等学校への入学を志願する場合は、アの手続きをとった上で、出願変更期間内に所定の手続き（出願変更）を行う。この場合、入学検定料の納入が必要となる。

8 その他

- (1) 合格した者で自宅から通学できない者は、特別な理由がない限り原則として入寮すること。
新規入寮可能人数（男子寮） 20人程度、寮費 月額51,000円（令和6年度実績）
- (2) 入学願書及び受検票の郵送を希望する者は、宛名を明記した返信用封筒（切手を貼付）を同封して本校に請求すること。